

「働く女性応援アドバイザー」について

長野県 商工労働部 労働雇用課

1 設置目的

働く女性の約6割が出産を機に退職しており、女性の就業率は出産・子育て期にあたる30歳～44歳において低くなる、いわゆるM字カーブとなっている。

そこで、働く女性応援アドバイザー4名を労政事務所に配置して、企業訪問による啓発活動や就労相談の実施などにより、働く女性が仕事と家事・育児を両立しながら、働き続けることができる社会の実現を目指す。

女性の年齢階級別就業率（長野県）



2 活動内容

(1) 訪問事業

企業訪問等により、ワークライフバランス推進に関する周知・啓発活動を行う。

(2) 就労相談事業

女性の就労に関する相談に対応するとともに、市町村の子育て支援センター等で、子育て中の母親の就労意識に関するアンケート調査を実施する。

3 実績

(1) 企業訪問数（H24.4～9月）

224カ所

(2) 女性からの就労相談件数(H24.10.22現在)(お出かけ相談44,一般相談8)

52件（主な内訳：就労準備17、保育所5、就労関係制度4、起業1）

【 主な相談内容 】

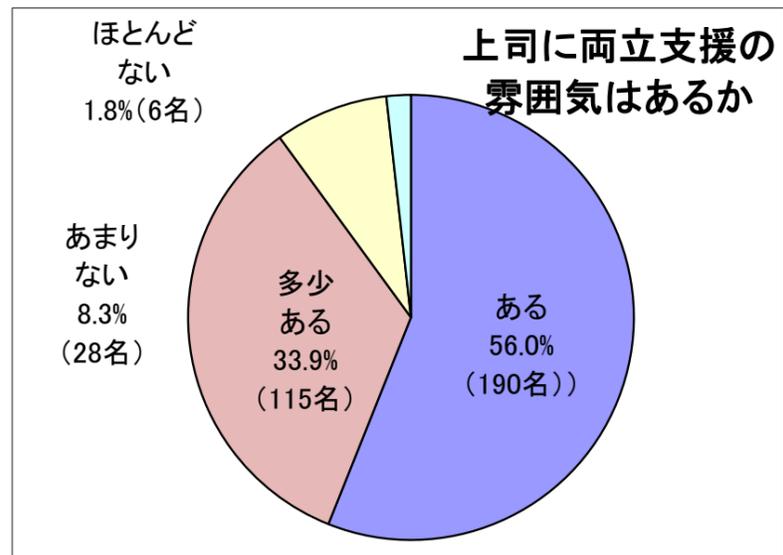
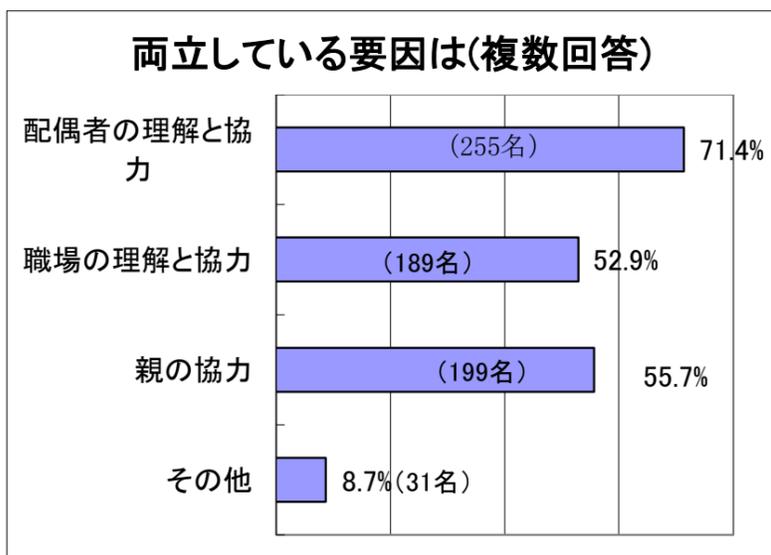
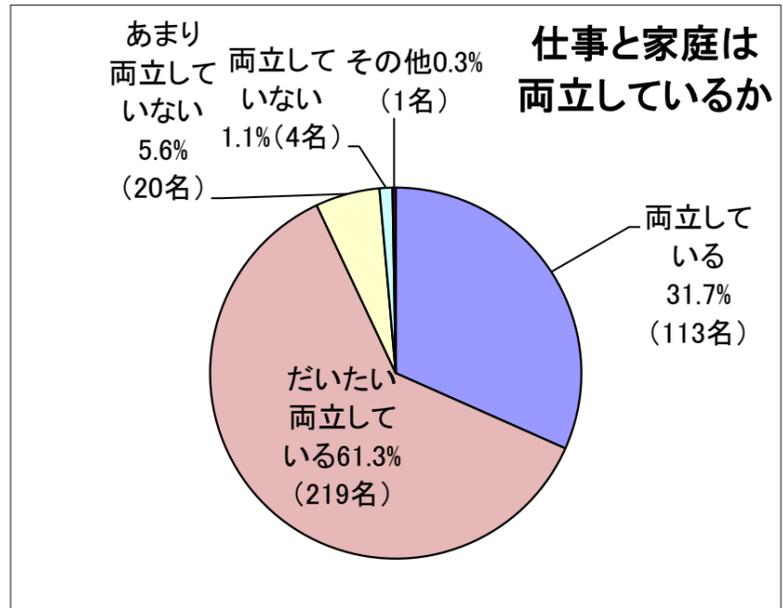
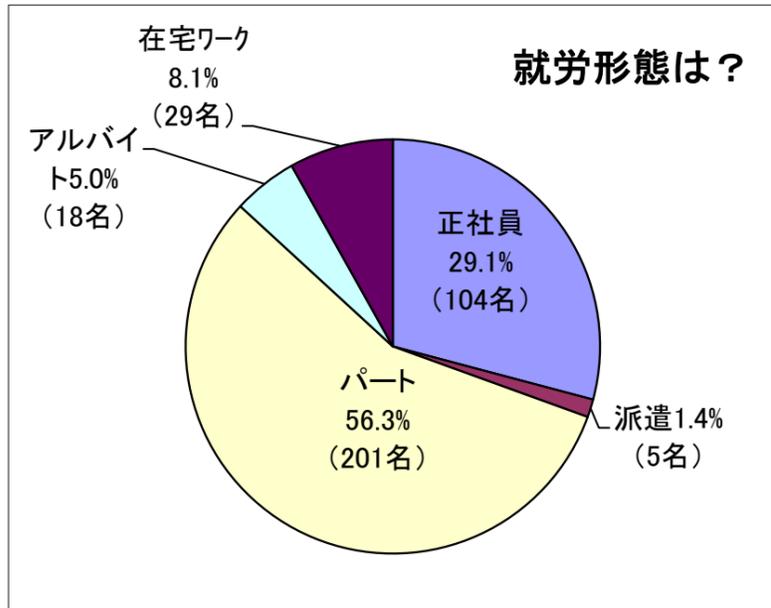
- ・再就職したいが、ブランクがあり不安。どんな準備をすればいいのか。
 - ・復職するのに当たり、どこの保育園に預ければいいのか。保育料が不安。
 - ・小学校高学年になると児童クラブがないので、困っている。
 - ・育児休業制度について教えてほしい。
 - ・短時間勤務の制度はあるが、同僚たちのことを思うと、利用できない。
- (※心に抱えた不安な想いを話してお帰りになる相談者も多い。)

(3) 子育て中の母親の就労意識アンケート 回収・集計数(H24.10.22現在)

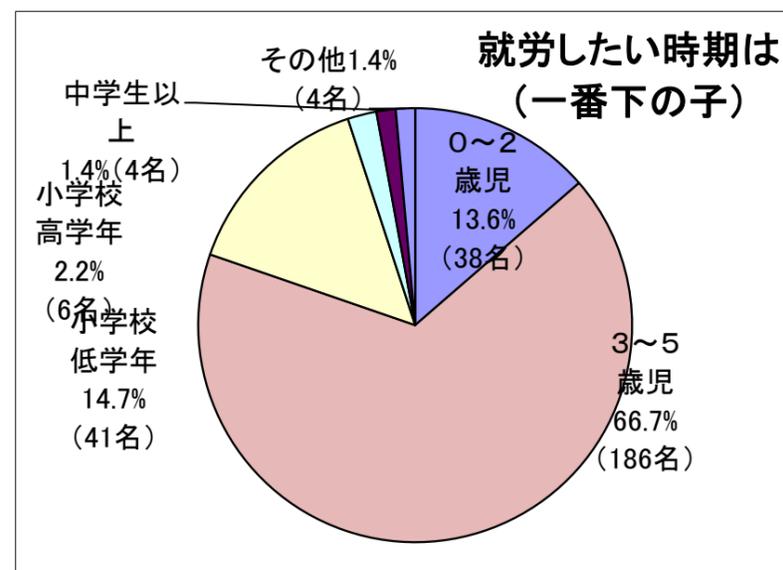
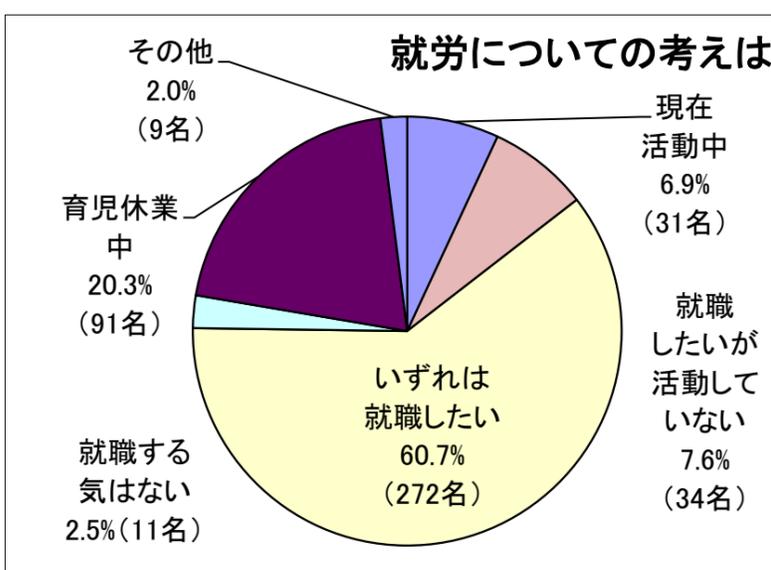
813通

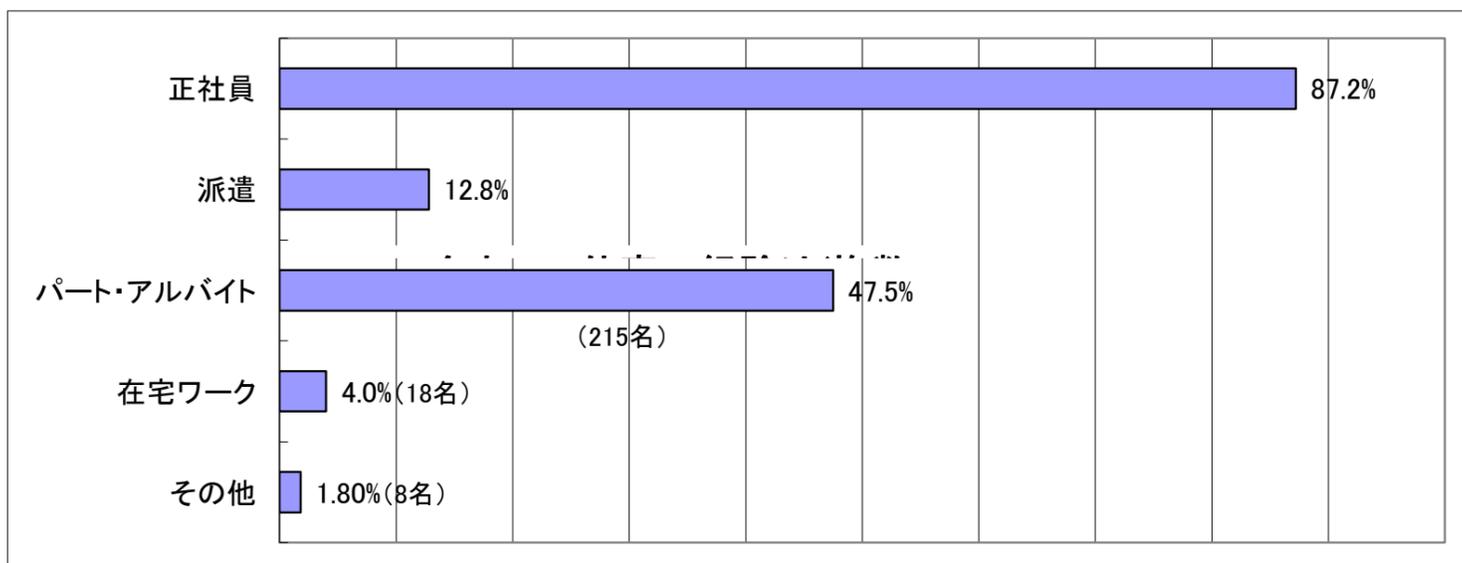
(内訳：10歳代2、20歳代168、30歳代509、40歳代128、50歳代以上3、不明3)

【 現在仕事をしている 】(357名)

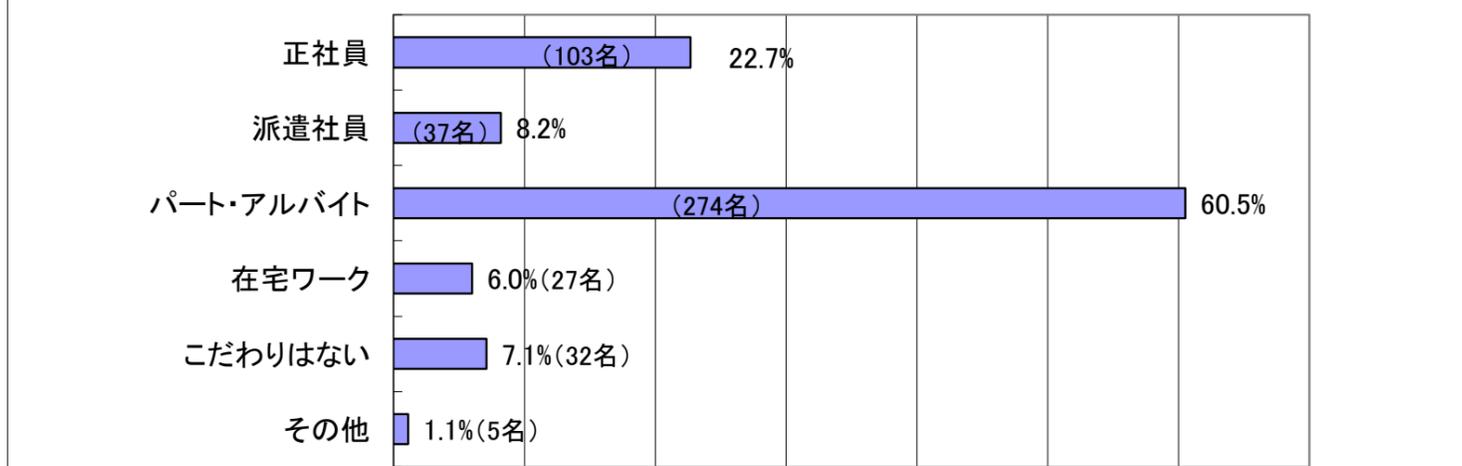


【 現在仕事をしていない 】(453名)

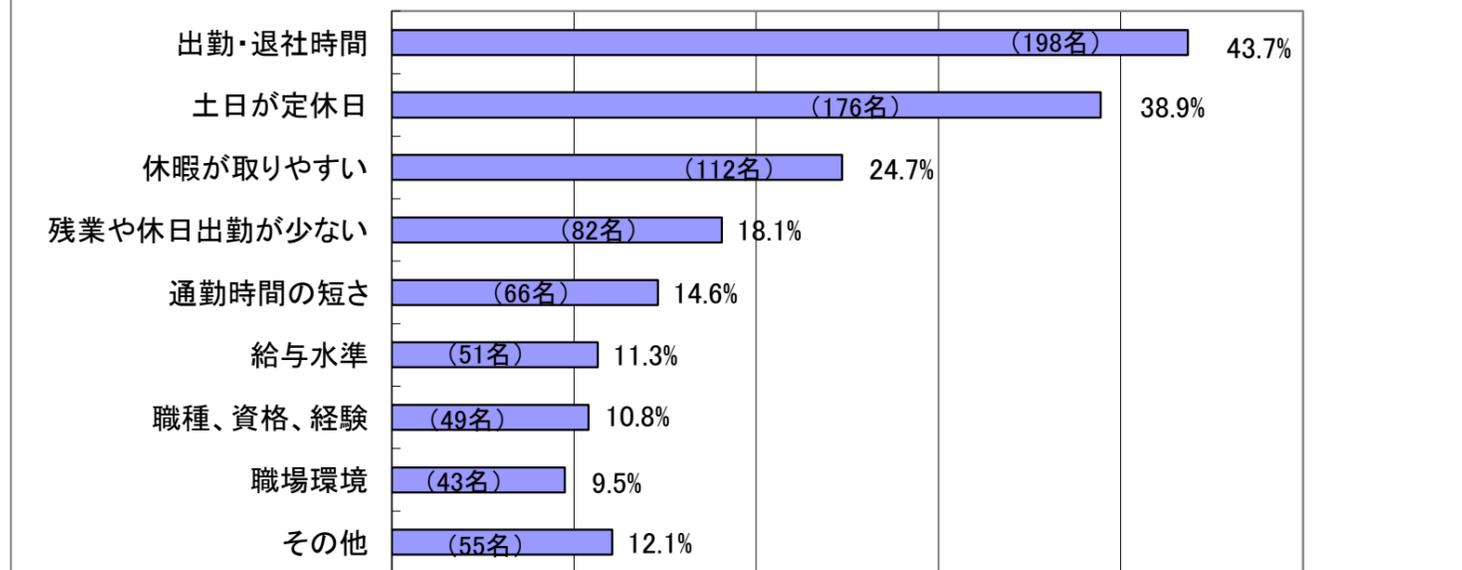




希望する就労の形態は(複数回答)



就労で優先したいこと(複数回答)



再就職での不安要素(複数回答)

